

■日本でも世界でもローターアクト 50 周年 (国際ロータリーウェブサイトより)

今から 50 年前の 1968 年 3 月 13 日、米国ノースカロライナ州シャーロットで、初のローターアクトクラブが創設されました。日本では同年 6 月に国際商科大学ローターアクトクラブ (1989 年終結) が創設され、日本でも今年には 50 周年の節目となります。

チームワークで社会に変化をもたらしたい、リーダーシップやキャリアに役立つスキルを磨きたい、18~30 歳の人たちとの交流を通じて可能性を広げたい。そんな若者の願いを実現する場として、ローターアクトは独自の発展を遂げてきました。多くのビジネスリーダーが集まるロータリークラブと比べると、まだまだ頼りないという意見があれば、一緒に活動することが難しいという距離感を指摘する声も聞かれます。単純に、ローターアクトがよく分からないという方も。しかし、変わりゆく世界に敏感に反応しているローターアクトの力に気づいていないということもあるのでは? 創設から半世紀を経た今、ローターアクトの発展、またロータリーの未来のために、未発見のローターアクトの可能性を探ってみましょう。

2016 年インドポリオ投与活動を振り返って ☆長尾 衣李子 (第 2830 地区 R A 直前地区代表)



私は昨年 2 月、インドでのポリオワクチン投与活動 (NID) に参加しました。そのときの体験談を紹介いたします。この活動には、日本から総勢 50 人のロータリアン、その家族、ROTEX、ローターアクトが参加しました。その目的は、ポリオを世界から撲滅するため、実際にインドの現地に赴いてワクチンを子どもたちに投与することです。夜にデリー空港に着き、翌日活動を始めました。

活動初日 ワクチン投与活動を宣伝するため、スラム街でのパレードに参加。



今回は、9 カ国から 200 人のロータリアンが参加したそうです。現地の学生たちと一緒に「keep India polio free (ポリオフリーのインドを維持しよう)*」と声をあげ、明日ワクチン投与活動があるよと呼びかけました。(* インドは 2014 年にポリオフリー認定を受け、その後もポリオ再発を防ぐために予防接種活動を続けています。)

2 日目 いよいよワクチン投与をするのだ、うまくできるか、どんな場所で行うのか、など期待と不安で一杯でした。現地到着後、3 人ずつに分かれて指定された場所に移動しました。現地の保健師さんもいて、早速ワクチン投与がスタート。ワクチンを投与する人、「投与済み」の目印として左手の小指の爪をペンで塗りつぶす人、投与された人数をチェックする人、子どもにプレゼントをあげる人に分かれて行きます。(次号へ続く)

週



報

ロータリー：
変化をもたらす

Rotary: Making a Difference

イアン H.S. ライズリー
2017-18 年度 国際ロータリー会長



第 2681 号

平成 30 年
5 月 8 日
2018 年
MAY

Rotary Club of Naha
那覇ロータリークラブ

第 2805 回 例会報告

例会記録・予定

出席報告

会 員 数	78 名
出 席 計 算 会 員	77 名
出 席	35 名
欠 席	42 名
出 席 率	45.45%
訂 正 出 席 率	61.04%

欠席会員名

宮城、上原 (義)、戸田、中村、碓井、湧川 (祐)、比嘉、梶原、吉村、平良 (健)、石堂、平良 (修)、新里、松本、三反園、長嶺 (善)、保田盛、喜屋武、許田、國吉、具志堅、今福、渡辺、吉橋、下石、新垣 (安)、倉林、朱、宜保、吉岡、井手上、上原 (進) 与那覇、上原 (修)、真栄城、新垣 (竜)、安里 (繁)、長嶺 (国)、前原、藤井、赤嶺、本多。

MAKE-UP

新垣 (典) <東京四谷>

■沖縄分区分次年度会長・幹事会

5/14 (月) 14:30~16:30 会費: 2,000 円 6/19 (火) 18:30 点鐘 於: ロワジールホテル & 於: かりゆしアーバンリゾートナハ 6F スパタワー那覇 1 階「あまいろ」

☆プログラム

5/22 (火) → 5/12 (土) 桜の記念植樹へ振替。

場所: 石嶺児童園 (首里石嶺町) 10:00 点鐘

5 月 15 日 (火)

「那覇 RC 第 11 回勉強会」

地区研修サブリーダー 根路銘 敦 PAG (那覇東)

5 月 29 日 (火)

「イニシエーションスピーチ」

日本たばこ産業 (株) 沖縄支店長 川井田 浩会員

6 月 5 日 (火)・19 日 (火)

理事役員・各担当委員長活動報告

■クラブ協議会 (理事・役員・各担当委員長)

5/15 (火) 11:00~ 於: 那覇 RC 例会場

■例会休会 6/12 (火)・6/26 (火) 休会

■例会変更 「2017-18 年度 最終夜間例会」

那 覇 ロ ー タ リ ー ク ラ ブ

事務局 那覇市西 3-6-1 (パシフィックホテル沖縄 1 階) TEL 868-1224 FAX 861-4918

E-mail アドレス naha-rc@m1.cosmos.ne.jp HP アドレス: <http://naha-rc.org/>

会長 名嘉 義明 副会長/クラブ奉仕委員長/会長エレクト 山城 博美 副会長/クラブカウンセラー 新城 安雄
幹事 當間 卓 クラブ会報委員長 新里 哲郎 副委員長 具志堅 興一

■ニコニコBOX(*^^)



五月の誕生祝い
おめでとうございます。

上野 高 会員 誕生祝いありがとうございます。

名嘉 義明 会長

今週土曜日の記念植樹への参加をお願いします。
にこにこ。

亀川 榮一 会員

桑野直彦さんの御入会を祝して。

森 兵次 会員

国土交通省より自転車活用推進功績賞をいただ
いて、ニコニコ。

■幹事報告

當間 卓 幹事

*他クラブ例会変更・休会

那覇北 RC 5/24 (木) 19:00~21:00

場所：琉球酒場 てびち屋本舗 (下地勇氣会員店)

那覇市松山 1-13-1 1階 ビジター費 4,000 円

休会 5/31 (木)

那覇南 RC 5/28 (月)

コザ RC 5/31 (木)

*地区納めの会のお申込みはお早めにクラブ事
務局まで。6/12(火)18:30 於：目黒雅叙園

登録料 20,000 円 (チャリティー3,000 円含む)

■☆メイクアップ (Make-up)

欠席の前 2 週間または後 2 週間以内に別の
RC の例会か他の所定の会合に出席すれば
自己の会員身分を守り、出席のクレジットを
受けることができる。

■特別会計 2017~2018 年度 ニコニコ BOX

前回までのニコニコ BOX	¥461,500
本日のニコニコ BOX	¥7,000
ニコニコ BOX 累計	¥468,500

■会長報告

名嘉 義明 会長

*5 月は青少年奉仕月間 (Youth Services
Month) です。インターアクト、ローターア
クト、青少年交換、職場・就業体験、RYLA (ライ
ラ) 等の、若い人々の育成を支援するすべての
ロータリー活動に焦点を当てるのが期待さ
れています。本日の週報 4 ページに関連記事
を掲載致しました。是非ご一読下さい。またロー
ターアクターは現在 1 名。早急に会員増強が必
要です。18 才~30 才未満の若い皆さんを是非
ご紹介して下さいませよう、よろしくご協力下
さい。

*5/12 (土) 石嶺児童園での桜の記念植樹よろ
しくお願い致します。

■沖縄分区分 IM 2018 年 10 月 16 日 (火) パシフ
ィックホテル沖縄開催です。



安里政晃 IM 実行委員長・津嘉山伸 IM 実行委
員会幹事より進捗状況のご説明と今後のスケ
ジュールについてお話がございました。

■テレビ会議のお知らせ <東京>ガバナー
事務所 ⇄ <沖縄>那覇 RC 事務局

*地区オンツター・ハンブルグ委員会

5/29 (火) 15:30~17:00

☆2007-2008 年度 (岸本幸博 AG-那覇 RC) に
始まったテレビ会議システムは、沖縄分区分の地
区委員の皆様の旅費軽減に役立っております。

☆四つのテスト

言行はこれに照らしてから

- 1) 真実かどうか
- 2) みんなに公平か
- 3) 好意と友情を深めるか
- 4) みんなのためになるかどうか

■ 第 39 回例会 「イニシエーションスピーチ」 「沖縄県のアルコール健康障害対策」

(株) おきぎん経済研究所 代表取締役社長 東川平 信雄 会員



お酒と仲良く付き合
って健康でいられる
社会を！と、お話し
しました。

県の受託事業で報告をまとめ、これを基に沖
縄県アルコール健康障害対策推進計画がまと
まり、4 月から平成 34 年までの推進される
ことになっている。

酒は生活の豊かさ、潤いをもたらすが、不
適切な飲酒は健康障害の要因となる。本人の
みならず重大な社会問題を生じさせる危険性
がある。総合的、計画的に対策を進める必要
性からアルコール健康対策法に基づき、都道
府県が計画を策定することになっている。

健康、社会問題招く不適切飲酒

沖縄県の飲酒の頻度は、全国で週 4 回以上
が飲酒する男性は 38.3% なのに対して、
県は 22.7%。女性は 10.1% に対して
7.8% となっているが、飲酒者の割合は、
男性が全国 77% に対して沖縄は 90%、女
性は 53.8% に対して 76.5% と高く、
一度に飲む量も男女とも全国平均より高く、
男性で 9.3% がビール 10 本以上、日本酒
10 合以上飲んでいる。女性も 33% がビ
ール 3 本、日本酒 2 合以上、3.4% が 10 本、
10 号以上飲んでいる。適度な飲酒量の割合
が男女とも低くなっている。

酒を初めて飲んだ年齢が低いほどアルコ
ール依存症になる危険性が高く、非行の原因に
もなるが、未成年者の飲酒による補導だが、
平成 23 年は 1685 人、28 年は 915 人。
妊娠中の飲酒は 1.6%。1 人当たりの酒類
販売量は 110% となっており、東京都に次
いで 2 位となっている。

アルコール性肝疾患は年齢調査死亡率人口
10 万人に対して男性 18.7 人、女性 6 人で
男女ともワースト 1 位。アルコール依存症は
全国で 100 万人を超えるが、人口比で算出
すると沖縄は 1 万 2000 人となっている。
飲酒運転も道交法改正以降減ってはいるが、
27 年以降増加傾向。泥酔保護や路上寝込み
も多い。配偶者への暴力の相談件数は平成
27 年 733 件と増加しており、その一割が
検挙されているが飲酒絡みは 6 割。児童虐待
も増加しており、アルコール、健康障害と密
接な関係がある。酒による自殺への影響は飲
酒量の多いグループほど高くなっている。

安心して暮らす社会の実現へ

計画には今回の内容が掲載されており、県
民の健康を保持し、安心して暮らすことが
できる社会に実現を目指すことを目的にして
いる。

1 つは節度ある適切な飲酒。飲酒に伴うリ
スクに関する知識の普及を徹底し、将来にわ
たるアルコール健康障害の発生を予防する。
2 つはアルコール健康障害に関する予防、相
談から治療、回復、支援に至る切れ目のない
支援対策を構築していくことを重点課題
としている。

これを踏まえ、基本的施策として①教育の
振興と普及、啓発②不適切な飲酒の誘因防止
③健康診断および保健指導、地域・職域にお
けるアルコール健康障害予防のための体制
整備④アルコール障害に関する医療連携の
充実⑤相談支援⑥飲酒運転者への指導⑦社
会復帰支援⑧民間団体への活動支援⑨⑩人
材育成一を掲げ、4 月から実施している。仲
良くお酒と付き合い健康でいられる社会
を築ければと思う。文責：石堂 清彦